

留学生いわて

2023年度 岩手県留学生交流推進協議会



岩手大学イーハトーブサマープログラム 2023

留学生のみなさんへ

岩手大学長 小川 智



留学生の皆さん、いかがお過ごしですか。昨年、2023年1月12日にアメリカのニューヨーク・タイムズが「2023年に行くべき52か所」を発表し、イギリスの首都ロンドンに続く2番目に盛岡市が紹介されたことはご存知かと思えます。以来、日本人観光客はもちろん、盛岡駅前等で外国人の姿が多く見られるようになってきました。推薦者のクレ

イグ・モドさんは盛岡市のことを、山々に囲まれ、東京から新幹線ですぐに行くことが出来て、歩きやすい街で混雑とは無縁。西洋と東洋の建築美が融合した大正時代の建物、近代的なホテル、伝統的な旅館、曲がりくねって流れる川などがあり、古い城跡が公園となっていることも魅力のひとつだと評しています。留学生の皆さんはどのように感じていますか。盛岡のコーヒーショップやわんこそば屋、アートブックショップやジャズ喫茶をぜひ訪れてみてください。きっと素晴らしい発見が皆さんを待っています。

さて、学長就任の最初の年である2020年度「留学生いわて(No.33)」の冒頭でもご挨拶しました。そこでは、ドイツのベルリンに研究員として滞在し、訪れたいいくつかの大学での世界的な研究者との交流、共同研究による学術研究の展開に際し、国籍や民族などの異なる文化的な違いを超えた、対等な関係での協働の

重要性を肌で感じたことを紹介しました。まずは思い切って飛び込むことが大切で、そこから何かが開けてくること、そして今でも続く多くの友との交流がその財産として残っています。また、できれば一つの国や地域ではなく多くの場所で交流することが、より国際的な感覚を磨くことに有効となります。私も学長就任以前の大学教員であった時期に、特に欧州を中心に、研究交流のために多くの国々を訪問し、学術交流を行ってきました。例を挙げると先のドイツに加え、イギリス、フランス、スペイン、スイス、イタリア、トルコ、ポーランドなどでしょうか。ようやくコロナ禍が明けた最近では、学長としてアジア、アセアンを中心に、中国、タイ、モンゴルなどの協定大学を訪問し交流を深めています。

国際交流の営みが多様な人間関係を生み出し、人間的な成長の原動力となります。また、岩手に集う国内外の様々な地域からの多様なタレント溢れる友人との交流は、グローバル化に対応できる人間力となります。世界中が振り回された新型コロナウイルス感染症については、落ち着きを見せていますが、インフルエンザの流行もあり、現時点でも決して油断はできない状況です。それでも新しい常態として多くの日常に戻ってきたことは間違いありません。祖国を離れて不安なことも多いでしょう。それでも皆さんが各々の夢に向かって希望を持って進む姿、そして成長こそが、私たちの大きな喜びです。私たちは皆さんの留学生生活を全力で応援します。

岩手県留学生交流推進協議会総会

岩手県留学生交流推進協議会総会は、令和6年1月23日（火）にオンラインで開催し、9つの構成団体（計11名）の参加がありました。

総会では、令和5年度事業計画として、広報誌「留学生いわて」No.36の発行について、審議のうえ実施することとしました。また、令和4年度事業として、①総会の開催、②広報誌「留学生いわて」No.35の発行、③“岩手のいいところ”日本語スピーチコンテストの実施について報告があり、さらに令和5年度地域交流等実施計画調査、岩手県内高等教育機関（大学・高専）留学生データについて報告がありました。

今回の総会において、岩手県留学生推進協議会の廃止について審議があり、了承されました。これにより、当協議会としての活動は、令和5年度事業である「留学生岩手No.36」の発行をもって終了することとなります。

当協議会の概要及び活動内容について、総会資料から抜粋いたしましたのでご覧ください。

【概要】

1990年11月27日に発足

構 成 員：高等教育機関、国・地方公共団体、経済団体、留学生交流関係団体

会 長：岩手大学長

事 務 局：岩手大学

活動資金：文部科学省（2010年以降は岩手大学が経費を負担）

活動内容：運営委員会開催、交流懇談会開催、機関紙『留学生いわて』の発行、留学生生活状況調査など。

【これまでの活動内容】

- (1) 総会（コロナ禍では紙上会議）
- (2) 機関紙『留学生いわて』の発行（データ作成、HPに掲載）
- (3) 留学生数、地域交流等実施計画調査
- (4) 交流イベント開催（写真展、スピーチコンテストなど）

【廃止理由】

情報化社会に伴い、各高等教育機関や国・地方公共団体、国際交流関係団体等はホームページ、SNSを通して、様々な情報を発信していることから、情報収集がしやすくなっている。また、「いわてグローバル人材育成推進協議会」、「岩手県国際交流関係団体連絡協議会」、「外国人材受け入れ拡大に係る関係機関連絡会議」などがあり、本協議会の事業、構成員の重複が見られ、整理する必要が生じているため。

留学生と地域住民との交流は留学生の各所属機関、あるいは国際交流協会等において行われており、本協議会を通じた交流事業等を実施するニーズは薄れているため。

交流レポート

岩手県教育委員会事務局学校教育室

令和5年度雲南省教育交流推進事業実施報告

本県と中国雲南省は、平成25年11月に友好交流協力協定(政府間協定)を締結しています。本事業は、産業・農業等の分野で交流を開始し、その後は様々な分野での交流に発展してきました。平成30年度には教育交流に発展し、今年度はコロナ禍明け4年ぶり2回目の雲南省の教員団の受入、3回目の本県教員の派遣となりました。

本事業の目的は、教育分野における雲南省との相互交流を図り、グローバル人材の育成を推進するため、本県教員の一層の授業力の向上や児童生徒の学力向上に資する取組を支援することとしています。受入については、9月24日(日)から9月30日(土)で実施し、本県の世界遺産や復興教育等、本県独自の取組やその他特徴的な教育を展開している小・中・高校の授業を視察していただきました。これらの様子は、テレビや新聞、オンラインニュース等各種メディアでも紹介されました。また、派遣については、非英語圏であるが生徒の英語学習に対する意欲を向上させている雲南省の小・中・高校の授業実践を視察してきました。帰国後は、雲南省のトップスクールから学んだ授業展開や手法を視察者の中学校、高校の授業に取り入れ、授業づくりをしてまいりました。その授業実践については、2月に開催された岩手県教育研究発表会で報告し、次年度は英語教育に関わるセミナー等で派遣教員が講師を務め、広く本県の小・中・高校の教育現場に還元することとなっております。

今後とも雲南省教育交流推進事業をいわて県民計画第2期アクションプランで掲げられている「岩手と世界をつなぐ人材の育成」を推進する重要な事業と捉え、継続して取り組んでいきたいと考えております。

〈雲南省教育関係者訪問団の受入〉



知事表敬



大槌高等学校視察



上田中学校視察

〈本県教員派遣〉



雲南大学附属中学校での意見交換会



昆明第三中学校視察



廊下掲示(入試まで198日)

交流レポート

岩手大学

イーハトーブサマープログラム (IUIS) 実施報告

岩手大学は海外協定校との連携を強化するため、海外協定校の学生を対象に、サマープログラム（受入型・約2週間）を実施しました。令和4年度は新型コロナの影響によりオンラインで実施し、令和5年度に初めて対面で実施しました。8月に実施した本プログラムは、スタンダードプランと農学系プランの二つのコースに分かれて開催しました。

スタンダードプランは、8月17日から30日まで（13泊14日）に実施し、中国の協定校から16名の学生が参加しました。午前中は日本語の授業（ゼロクラスと中級前半クラス）、午後は書道・いけばな・茶道などの日本文化体験、週末は平泉・遠野・陸前高田の文化施設などを見学しました。

農学系プランは、8月17日から24日まで（7泊8日）に実施し、カナダの協定校から学生14名、引率者2名の計16名が参加しました。本プランは農学分野におけるレクチャー、研究センター・農場などの施設見学がメインで、週末はスタンダードプランの参加者と同じく平泉・遠野・陸前高田の文化施設などを見学しました

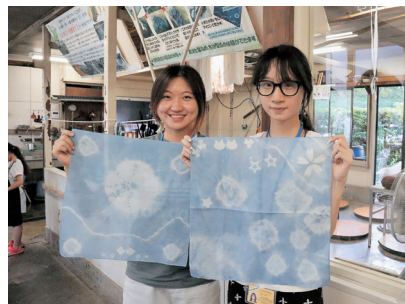
プログラム実施後のアンケート調査では、どちらのプランも満足の評価で、参加学生の日本および岩手県、盛岡市に対する理解を深めることができました。プログラム実施中は、日本人学生との交流イベントも開催し、参加留学生と日本人学生の交流を通じて「大学のグローバル化」や「グローバル人材の育成」に貢献することができました。



岩手大学滝沢農場見学



岩鑄の見学



手づくりむら体験



平泉金色堂見学



いけばな体験



けん玉体験

留学生紹介

2 Generations of Iwate

Nathaniel Adjadeh (Ghana)

Iwate Prefectural University, Software and Information Science, Research Student



My name is Nathaniel Kofi Adjadeh, I am Ghanaian and currently a research student at the Iwate Prefectural University, Department of Software and Information Science specializing in Information Security.

I am a second generation Adjadeh to attend a university in Iwate Prefecture after my father who had been a student in Iwate University from 1993 to 1999. My father used to tell me that "I was made in Japan and assembled in Ghana". I would say that I was raised with the good values and the stories my parents narrated about Japan and Iwate. My childhood was filled with stories about Iwate, about the people my parents met, about the differences and similarities between Japanese and Ghanaian cultures, the food and the beautiful landscape. My father told me about his experiences as a young man from Ghana, a country with average temperature of about 30o C coming to Iwate in January where the temperature

could be lower than -10o C. He told me about Sawauchi village in Iwate, where one could find piles of snow even in June. A young man with no travel experience, no knowledge of the Japanese language and culture in a time of no internet might indeed have been an ordeal for him. He has been very thankful to the people who helped him to settle down in Morioka, a place he came to call a home away from home. My mother also narrated her experience being one of the first black women to live in Iwate, how the people were nice to her and always complimented her beauty.

From the stories my parents told me, I have always loved Iwate. From the narrations, Iwate appeared to me as a very peaceful place with immeasurable possibilities, a place where dreams come true. My parents have always spoken fondly about the good friends they made in the 90s while they were here, and whom they have kept in touch with to date. I have been here in Takizawa for about 5 months, and I already feel at home. From an early age, I have always yearned to visit the wonderful places my parents spoke so fondly about such as the Takamatsu Pond and the Koiwai farms. I am currently studying information and cybersecurity at the Iwate Prefectural University. Incidentally, my parents were in Iwate when IPU was founded, and they had visited the campus with my older brother who was born in Morioka. In my family, as long as I can remember, I have always been the technology consultant. I have always loved technology. To me, Japan is a technological haven, a place to experience peak technological advancements. So, I knew that this was the place I wanted to be. I decided to specialize in security because I have noticed that every day, as technology becomes more a part of our daily lives, more of our information is accessible through the internet, making us vulnerable to bad actors who would want to take advantage of us.

Since coming to Japan, I have met many amazing people. Many people without whose help I would have found life extremely difficult settling down. From the old friends of my parents, friends I have made myself, to other people who are ever willing to help me, I am very grateful. Everyone offers a helping hand and shows kindness to me. I think I am a shy and reserved person; I mostly would want to do things on my own. But here in Takizawa where I am unable to speak, read or write the Japanese yet, keeping to myself would be very challenging without support from the people around. I have sometimes felt I was unnecessarily bothering people by always asking for help. Surprisingly, the people who assist me do so warmly. I am very grateful to my academic advisor, Prof. Narita, my laboratory mates and university staff for their warmth and kindness. Being kind and warm to foreigners must be an embodiment of the spirit of the people of Iwate. It is very true what my parents say about Iwate, it is indeed a home away from home.

I look forward to many years of memorable experiences that I will also tell my children one day about Iwate.

留学生紹介

Exploring Iwate: My Journey at Iwate University

Pamoda Wijesinghe (Sri Lanka)

Faculty of Agriculture, Department of Plant Biosciences



My journey at Iwate University began as a research student, where I had the opportunity to delve into various academic pursuits and expand my knowledge in my chosen field.

During my time at Iwate University, I experienced the delightful winter weather, which left a lasting impression on me. The region's winter season is characterized by serene snowscapes and tranquil landscapes, creating a truly magical atmosphere.

Beyond academia, I had the opportunity to immerse myself in the rich culinary culture of the Iwate area, indulging in a variety of local delicacies that delighted my taste buds. Additionally, I explored numerous scenic spots and cultural landmarks, each offering a unique glimpse into the region's rich heritage.

Participating in events organized by AIINA and the global village of Iwate University further enriched my university experience, fostering cultural exchange and meaningful connections with fellow students.

In essence, my time at Iwate University, though limited to the winter season, has been marked by academic growth, cultural exploration, and memorable experiences that have enriched both my personal and academic journey.

留学生紹介

盛岡の景色

Pariyar Sandesh (パリヤル サンデス・ネパール)
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 日本語学科 2年



私はパリヤル・サンデスと申します。出身はネパールのダマリです。日本へ来てから2年が経とうとしています。

私が日本に留学した一番の理由は、日本の技術力です。ネパールにいたとき、日本で地滑りがあって道が壊れても12時間で使えるようになったと聞いて、びっくりしました。私と同じように日本の文化・技術が気になり、日本で生活してみたい人が世界にたくさんいます。私はコロナで2年留学が延びましたが、日本に来ることができて本当にうれしかったです。

でも、これまで家族と一緒に住んでいた私はどうやって一人で生活するか考えました。料理もまったくできないし、日本語も話せない、自分が食べたいものも見つけれなかったので、来て半年くらいはとても大変な生活を過ごしました。アルバイトもしたことがなかったので、勉強との両立はとても大変でした。よく家族のことを思い出していました。

そんなとき、日本の盛岡の風景に助けられました。私は、日本の日の入りと日の出の景色が大好きです。また、日本に来たばかりのころ悲しいことがあっても道を白くする桜を見るとうれしくなりました。

外国で生活するのはそんなに簡単ではないと思いつつも2年も経ちました。少し信じられません。気の合う友だちがいてくれてよかったと思います。これから東京に引っ越して新しい生活が始まります。また寂しい気持ちになるかもしれませんが、お気に入りの景色を見つけながら、最初の留学しようと思った気持ちを忘れずに、自動車整備士になるという夢をかなえたいと思います。

留学生関係資料

令和5年度地域交流等実施計画調査結果

※ 2023年5月 調査時点

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
岩手県留学生交流推進協議会	総会	R6.1	岩手大学	令和4年度事業報告と令和5年度事業計画等について協議する。
岩手大学	留学生オリエンテーション	R5.4 R5.10	岩手大学	留学生及びチューターを対象とした、勉学・生活等に関するオリエンテーションを行う。
	盛岡さんさ踊り参加	R5.8	盛岡市内	盛岡地域の伝統文化行事である「さんさ踊り」に留学生が参加し、市民との交流を図る。
	不来方祭（大学祭）	R5.10	岩手大学	留学生と国際交流サークルが共同で模擬店を出店し、異文化理解と交流を図る。
	岩手大学国際月間	R5.11	岩手大学	岩手大学では学生・教職員及び一般市民に対し、国際理解力の増進と国際交流への関心度を向上させ、各事業の波及効果の上昇を図ることを目的に、「岩手大学国際月間 -Iwate University International Month」を開催。海外派遣プログラムに参加した学生の体験談発表展示や報告会、協定大学の教員による英語での講演会等様々なイベントを集中的に開催。
	フィールドツアー（文化体験）	R5.6	秋田県	東北地域の伝統文化体験や観光地・文化施設への訪問、見学を通して、留学生の交流促進、職業意識の高揚や日本と岩手の産業・文化・伝統への理解を深める。
	フィールドスタディ（スキー）	R6.1 R6.2	八幡平市	岩手大学在籍の外国人留学生が、母国で経験することの少ないスキーや雪遊び体験等を通じて、雪国である岩手の冬に親しみ、更に留学生相互、教職員並びに地域住民等との交流を図り、留学生生活への適応と留学生教育の効果を高める。
	多文化多言語交流空間グローバルビレッジ	通年	岩手大学	岩手大学の日本人学生と留学生、地域の一般市民（一部の事業）が参加できる課外国際教育プログラム①グローバルイベント・ワークショップ（国際交流・異文化理解・地域理解）②日本語カフェ（日本語で留学生と交流、会話）③English Time（英語個別相談、指導）などを開催している。
岩手県立大学	国際交流バスツアー	夏季：R5.6頃 冬季：R5.12頃	岩手県内	留学生と日本人学生の交流推進を図ると共に岩手県の魅力を留学生に知ってもらう機会を提供
	風のモントで国際交流	年2回	岩手県立大学	留学生による母国文化紹介や多文化理解講演会等の開催
岩手県立大学 盛岡短期大学部	大学祭	R5.10.28 ～29	岩手県立大学	留学生と国際交流サークルが共同で模擬店を出店、海外研修パネル展示及び報告会の開催
岩手県立大学 宮古短期大学部	英会話交流事業「English Time」	R5.5～7、 R5.10～1の 期間中 月2回	岩手県立大学	初級者から上級者まで、気軽に参加でき、英語で楽しく会話する交流の場を提供
	留学生等の派遣事業	随時	岩手県内	岩手県内の各種団体等が実施する国際交流イベントや国際理解促進事業への留学生の派遣

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
富士大学	留学生オリエンテーション	年4回程度	富士大学	留学生対象に、寮生活、アルバイト等に関するガイダンスを実施
	英語講座	R5.6 R5.11	富士大学	地元高校生や、地域住民を対象に英語講座を開催する。
	学外研修旅行	R5.8	宮古市	日本文化を体験し、日本への理解を深める。
	花巻まつり	R5.9	花巻市	祭りに参加して、日本文化を体験する。
	紫陵祭（大学祭）	R5.10	富士大学	模擬店を出店して、母国の料理を披露する。
	花南地区コミュニティ会議富士大学・中学生交流会	R5.12	花南振興センター	地域の中学生とゲームや意見交換等を通じて交流を深める。
盛岡大学	スピーチコンテスト 英語文化学科	R5.11	盛岡大学	学内から参加者を募り、英語によるスピーチコンテストを行う。その際、留学生はゲストスピーカーとして発表する。
一関工業高等 専門学校	留学生オリエンテーション	R5.4	一関工業高等専門学校	留学生を対象に、学習や生活に関するオリエンテーションを行う。
	国際交流サークル	不定期	一関工業高等専門学校	留学生が母国や、そこでの生活についてプレゼンテーションを行う。
	日本文化（書道）体験	R5.10	一関工業高等専門学校	書道体験をとおして、留学生に日本文化への理解を深めてもらう。
	日本文化（生け花）体験	R5.10	一関工業高等専門学校	生け花体験をとおして、留学生に日本文化への理解を深めてもらう。
	高専祭	R5.10.28 ～29	一関工業高等専門学校	留学生が母国の料理を販売する。留学生の書道・生け花作品を展示する。
	留学生の話を聞く会	R5.12	一関工業高等専門学校	留学生の母国の文化を紹介し、寮生の国際社会への知見広げ、親睦を深める。
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	盛岡市内ウォークラリー	R5.4	盛岡市内	盛岡市内の名所を巡り、学生同士の交流を図る
	BBQ	R5.5	盛岡市内	新入生がほぼ揃った段階で実施し、学生同士の交流を図る
	交通安全教室	R5.5	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	東警察署の方に来ていただき、自転車を中心とした交通ルールを学ぶ。
	バスハイク	R5.7	平泉（予定）	岩手県内の名所を訪問し、岩手の文化・名所を学ぶ。
	盛岡さんさ踊り	R5.8	盛岡市内	さんさ踊りに参加し、日本の文化を体験する。
	りんご狩り	R5.11	高館農園	岩手・ベトナム青少年を支援する会会員のみなさんと交流を深める。
	スケート教室	R6.2	みちのくココ・コーラボトリング	ウィンタースポーツを体験する。

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
上野法律ビジネス専門学校	春のスポーツ大会	R5.5.2	盛岡体育館	全学生対象。種目はソフトバレーボール。専門課程の日本人学生及び留学生、日本語学科留学生が参加し、交流を深める。
	就職セミナー	R5.5.10	上野法律ビジネス専門学校	全学生対象。外部から講師を招いて実施。スーツの着方やメイクの仕方等を学ぶ。
	課外活動	R5.7.20	岩手県内	留学生が岩手県内の観光地に行き、地域への理解を深める。
	酒買地蔵尊例大祭	R5.7 下旬	盛岡市材木町	希望学生がボランティアで参加。神輿担ぎや出店の手伝いを行い地域と関わる。
	秋のスポーツ大会	R5.9.29	盛岡体育館	全学生対象。種目は室内外の競技各種。専門課程の日本人学生及び留学生、日本語学科留学生が参加し、交流を深める。
	課外活動	秋～冬	岩手県内	留学生が岩手県内の観光地に行き、地域への理解を深める。
	上学祭（学園祭）	R5.11.17～18	上野法律ビジネス専門学校	全学生対象。一般客を招くイベント。留学生は自国の紹介、出店、ステージイベントなどを行う。
岩手県 (いわてグローバル人材育成推進協議会)	グローバルキャリアフェア	R5.11.18	岩手産業文化センター(アピオ)	県内留学生等の県内就職を支援するため企業との就職マッチングフェアを開催する。
	外国人を対象としたインターンシップ	R5.7～R6.3(予定)	各受入企業	県内留学生等の県内就職を支援するためインターンシップを実施。
	企業訪問	R5.9(予定)	未定	県内企業の取組を理解し、県内就職等に繋げることを目的に企業訪問を実施。(例年岩手大学との共催で取り組んでいるもの)
一関市	国際姉妹都市交流事業	通年	一関市内	国際姉妹都市との交流促進に資する事業の実施
	多文化共生事業	通年	一関市内	在住外国人や市民を対象とした研修会やワークショップの実施
宮古市	にほんご広場・ごみの出し方研修※多文化共生推進業務委託	R5.2.22	イーストピアみやこ市民交流センター	ごみの出し方をテーマに、宮古でのごみの出し方、ごみ出しに関連した日本語について理解を深めるほか、出身国での様子を紹介し合う日本語教室を開催
	にほんご広場・動画コンテスト※多文化共生推進業務委託	R5.7 月上旬～R5.12 下旬	イーストピアみやこ市民交流センター	宮古の風景・人を対象とした動画コンテストを開催
	英語スピーチコンテスト※多文化共生推進業務委託	R5.8 中旬	未定	テーマに沿って、自分の意見を英語で発表するスピーチコンテストを開催
	みやこ秋まつり参加※多文化共生推進業務委託事業	R5.9	市内	みやこ秋まつり1日目の手踊りパレードに参加
	みやっこタウン参加※多文化共生推進業務委託事業	R5.10.8	市内	子供向け職業体験イベントに参加
	にほんご広場・災害時研修※多文化共生推進業務委託事業	R5.11.6	イーストピアみやこ市民交流センター	災害時の避難や日常の備え、よく使われる日本語について理解を深める日本語教室を開催
	にほんご広場・書き初め研修※多文化共生推進業務委託事業	R6.1.15	イーストピアみやこ市民交流センター	書道を体験するほか、ひらがな等日本語に興味を持つ、日本語教室を開催
	にほんご広場・にほんごスピーチコンテスト※多文化共生推進業務委託事業	R6.3.3	イーストピアみやこ市民交流センター	テーマに沿って、自分の意見を日本語で発表するスピーチコンテストを開催
	外国料理コンテスト※多文化共生推進業務委託事業	未定	未定	宮古で作れる外国料理コンテストを実施

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
盛岡市	盛岡市・ビクトリア市姉妹都市交流事業	R5.5	カナダ・ビクトリア市	姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流事業
	盛岡市・花蓮市友好都市交流事業	R5.9	台湾・花蓮市市内	友好都市台湾・花蓮市との交流事業
	キッズ・レッツ・プレイ	R5.5～R5.10	市内	未就学児・小学生を対象とした異文化理解講座
	中学生による国際交流コンテスト	R5.7	市内	市内中学生による国際交流をテーマにしたスピーチコンテスト
	ボランティア研修会	R6.1～R6.2	市内	盛岡国際交流協会に登録しているボランティアの資質向上を図る事を目的とした災害、多言語対応をテーマにした研修
	国際理解講座	R5.6～R5.10	市内	国際交流に関心のある団体等に対する国際理解を深める講座
	生活オリエンテーション	R5.4～R5.10	盛岡情報ビジネス専門学校日本語学科等	在住外国人へ生活に役立つ知識を提供する講座
	日本文化体験講座	R6.1	市内	在住外国人と日本文化を体験し、交流を行う講座
	外国籍市民との交流イベント	R5.12	市内	在住外国人と市民が一緒になって楽しめる交流イベント
	中学生海外研修	R5.10～R5.11	カナダ・ビクトリア市	姉妹都市カナダ・ビクトリア市に市内中学生を派遣し、姉妹都市交流を促進する事業
久慈市	久慈市国際交流協議会交流推進事業「ハロウィン」	R5.10（予定）	久慈市内	ハロウィンを通して国際交流の他、ALTによる英語絵本の読み聞かせやクラフト作り
	久慈市国際交流協議会交流推進事業「Hello!World! 世界を知ろう」	未定（年数回）	久慈市内	様々な国の講師を招き、それぞれの国の文化、言語などについて学ぶ
	久慈市国際交流協議会交流推進事業「Hello! World! 番外編こんにちほ！にっぽん！」	未定（年数回）	久慈市内	久慈市内在住外国人に、日本文化に触れてもらう。座禅体験、柔道体験、小久慈焼陶芸体験、など
	久慈市国際交流協議会姉妹都市交流事業「インディアナ州フランクリン市中学生派遣受け入れ事業」	R5.10（予定）	久慈市内	姉妹都市であるフランクリン市の中高生を久慈市に招き、学校訪問や文化交流などを通じて市民との交流を深める
盛岡市教育委員会	盛岡市とアールム大学との教育交流（ALTの招聘）	通年（毎年継続）	盛岡市立各小・中・高等学校	アールム大学卒業生7名（多くはSICEプログラム経験者）を招聘し、市立の中・高等学校に配置し、近隣の小学校にも派遣。
	盛岡市とアールム大学との教育交流（大学短期留学生の受け入れ・SICEプログラム）	R5.8～R5.11	盛岡市内（各小・中学校）	市立の中学校での英語授業への参加、市内でのホームステイをとおして、日米の教育実践の比較研究等に協力するための受け入れ事業。
	令和5年度米国アールム大学留学生オリエンテーション	R5.8 下旬	盛岡市内	上記留学生と引率教授を対象に、盛岡市及び盛岡市の教育の概要について説明し、懇談。
	令和5年度米国アールム大学留学生送別会	R5.11 下旬	盛岡市内	上記短期留学の終了にあたり、盛岡市滞在の最後の思い出になるよう、夕食会を開催。

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
公益財団法人 岩手県国際交流協会	外国人との交流会	不定期	県内各地	在住外国人との協働企画により、定期的に交流会を開設する。
	2023 ワン・ワールド・フェスタ in いわて	R5.11.12	アイーナ 4 階、5 階	在住外国人やボランティア、関係団体等との連携による国際交流イベントを開催する。
	フェアトレードデイ	未定	未定	フェアトレードを通じて国際協力の意識啓発を図るイベントを実施する。
	いわて災害時外国人支援体制構築事業	未定	アイーナ及び県内数箇所	災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の意識の醸成を図る取組みを行う。
	多文化共生地域づくりセミナー	未定	未定	外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするセミナーを開催する。
	多文化共生地域づくりワークショップの実施	未定	未定	外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたまちづくりについて考えるワークショップを実施する。
	グローバルキャリアフェア	未定	未定	留学生等外国人の県内企業への就職の切っ掛けとなる取組みを行う。
	外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等	未定	未定	留学経験のある学生等や県内在住外国人と会員企業の関係者が参加するワークショップや企業訪問を開催し、情報交流を行う。
国際ロータリー第 2520 地区	米山学友会総会	未定	江陽グランドホテル	米山記念奨学生 OB 会総会
	米山記念奨学生研修旅行	R5.8.27	松島方面	日本文化の理解を深める研修
	米山記念奨学会研修会	R5.9.24	江陽グランドホテル	ロータリークラブ会長・米山委員長への研修会
	米山月間	R5.10		奨学生の各クラブスピーチ並びに非世話クラブへの奨学生派遣スピーチ
	米山記念奨学生りんご狩り	R5.11.19	岩手県一関近郊	親睦会
	奨学生選考試験（岩手地区）	R6.1.31	アイーナ	次年度の奨学生応募者に対し選考試験の実施
	奨学生選考試験（宮城地区）	R6.1.13	第一日本オフィスビル	次年度の奨学生応募者に対し選考試験の実施
	米山学友会総会	未定	江陽グランドホテル	米山記念奨学生 OB 会総会
	米山記念奨学生研修旅行	R5.8.27	松島方面	日本文化の理解を深める研修
	米山記念奨学会研修会	R5.9.24	江陽グランドホテル	ロータリークラブ会長・米山委員長への研修会

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
花巻ホームステイ協会	ホームステイの受入れ	随時	会員宅	現在のところ未定です。
	会員研修会	未定	会場未定	花巻を訪れる海外在住者や外国人を講師に研修を行います。
	クリスマスパーティー	R5.12.16	会場未定	花巻在住の外国人を招き、交流を行います。
岩手県ユネスコ連絡協議会	2022年度ユネスコ運動岩手県大会	R5.10.7	一戸町御所野縄文博物館ほか	講演（文化庁職員）・地元学校生徒実践発表・遺跡見学等で研修を深める。
	SDGs セミナー	未定		
	国際理解研修会	未定		

岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況

(令和5年5月1日現在)

学校名	受入人数	国別内訳		経費種別内訳				学生種別内訳					
		国	人数	国費	政府派遣	岩手県費	私費	学部学生	大学院		研究生	科目等履修生	聴講生その他
									修士	博士			
岩手大学	185	中国	90	0	0	0	90	24	23	22	13	0	8
		モンゴル	18	3	0	0	15	0	4	13	0	0	1
		韓国	14	0	0	0	14	9	1	2	0	0	2
		ベトナム	4	0	0	0	4	2	1	1	0	0	0
		タイ	9	7	0	0	2	0	5	2	0	0	2
		インドネシア	3	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0
		バングラデシュ	16	11	0	0	5	0	5	11	0	0	0
		マレーシア	8	0	4	0	4	6	1	1	0	0	0
		台湾	5	0	0	0	5	0	0	1	0	0	4
		カンボジア	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		パキスタン	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		ルワンダ	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		エチオピア	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
		アメリカ合衆国	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		カメルーン	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		フランス	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
		アイスランド	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		フィンランド	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ドイツ	4	0	0	0	4	0	0	2	0	0	2
		ロシア	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
コンゴ共和国	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
モザンビーク	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
岩手県立大学	21	中国	16	0	0	0	16	0	10	1	0	0	5
		インドネシア	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0
		バングラデシュ	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		インド	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		アメリカ	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
岩手医科大学	2	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		アメリカ	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
富士大学	25	韓国	16	0	0	0	16	16	0	0	0	0	0
		中国	8	0	0	0	8	4	4	0	0	0	0
		バングラデシュ	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
盛岡大学	1	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
岩手県立大学 宮古短期大学部	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手県立大学 盛岡短期大学部	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
修紅短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一関工業高等専門学校	5	モンゴル	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		マレーシア	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		ペルー	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ナイジェリア	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ブラジル	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	76	ベトナム	5	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
		ネパール	37	0	0	0	37	37	0	0	0	0	0
		ミャンマー	11	0	0	0	11	11	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	16	0	0	0	16	16	0	0	0	0	0
		フィリピン	5	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
		中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		台湾	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
上野法律ビジネス専門学校	98	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	46	0	0	0	46	46	0	0	0	0	0
		ネパール	51	0	0	0	51	51	0	0	0	0	0
計	413		413	32	6	0	375	245	58	69	13	0	28

岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況

(令和5年11月1日現在)

学校名	受入人数	国別内訳		経費種別内訳				学生種別内訳					
		国	人数	国費	政府派遣	岩手県費	私費	学部学生	大学院		研究生	科目等履修生	聴講生その他
									修士	博士			
岩手大学	185	中国	94	0	0	0	94	25	27	19	14	0	9
		モンゴル	18	4	0	0	14	0	4	14	0	0	0
		韓国	15	0	0	0	15	9	1	2	0	0	3
		ベトナム	5	1	0	0	4	2	1	1	0	0	1
		タイ	9	7	0	0	2	0	4	3	0	0	2
		インドネシア	3	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0
		バングラデシュ	17	12	0	0	5	0	4	13	0	0	0
		マレーシア	9	1	4	0	4	6	1	1	0	0	1
		スリランカ	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		台湾	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		カンボジア	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		パキスタン	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		ルワンダ	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		エチオピア	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
		カメルーン	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		フランス	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
		フィンランド	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ドイツ	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
モザンビーク	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
岩手県立大学	30	中国	19	0	0	0	19	0	11	1	2	0	5
		インドネシア	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0
		バングラデシュ	5	1	0	0	4	0	1	0	4	0	0
		台湾	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		アメリカ	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		ガーナ	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
岩手医科大学	1	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
		韓国	16	0	0	0	16	16	0	0	0	0	
富士大学	25	中国	8	0	0	0	8	4	4	0	0	0	
		バングラデシュ	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
		カナダ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
盛岡大学	2	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
		中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
岩手県立大学 宮古短期大学部	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手県立大学 盛岡短期大学部	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
修紅短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一関工業高等専門学校	5	モンゴル	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		マレーシア	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		ペルー	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ナイジェリア	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ブラジル	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	103	ベトナム	5	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
		ネパール	42	0	0	0	42	42	0	0	0	0	0
		アフガニスタン	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	21	0	0	0	21	21	0	0	0	0	0
		フィリピン	7	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0
		中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		台湾	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		ミャンマー	25	0	0	0	25	25	0	0	0	0	0
上野法律ビジネス専門学校	124	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	63	0	0	0	63	63	0	0	0	0	0
		ネパール	59	0	0	0	59	59	0	0	0	0	0
		コロンビア	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
計	475		475	38	6	0	431	298	61	67	23	0	26

岩手県内高等教育機関における外国人留学生数の推移

(令和5年11月1日現在)

学 校 名	2014年	2015年	2016年	2017年(H29)		2018年(H30)		2019年(R1)		2020年(R2)		2021年(R3)		2022年(R4)		2022年(R4)	
	5月 (H26)	5月 (H27)	5月 (H28)	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月
岩手大学	194	199	207	218	222	214	229	238	240	201	182	191	194	173	202	185	185
岩手県立大学	14	17	15	14	19	18	21	26	28	27	21	32	21	23	25	21	30
岩手医科大学	4	2	2	1	1	1	1	3	3	3	3	4	4	3	3	2	1
北里大学 海洋生命科学部																	
富士大学	41	24	20	16	16	15	18	26	26	34	24	29	29	28	29	25	25
盛岡大学	3	4	3	2	2	3	3	3	4	1	0	1	0	0	1	1	2
岩手県立大学 宮古短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県立大学 盛岡短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修紅短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一関工業高等専門学校	7	8	8	6	6	7	7	7	7	6	6	5	5	5	5	5	5
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	42	66	56	40	85	68	89	49	77	87	47	21	20	48	71	76	103
上野法律ビジネス 専門学校						21	26	32	69	56	40	28	28	38	102	98	124
計	305	320	311	297	351	347	394	384	454	415	323	311	301	318	438	413	475

編集 岩手県留学生交流推進協議会事務局(岩手大学国際課)

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18番34号
TEL 019-621-6076 FAX 019-621-6290
<http://iuic.iwate-u.ac.jp/suishinkyo/index.html>



※この広報誌はデータのみで作成し、本協議会のホームページに掲載しています。

令和6年3月発行